



致理科技大學

Chihlee University of Technology

國際貿易系

Department of International Trade.

目錄 CONTENTS

B1 專題製作

作品內容.....	03
競賽成果.....	11
口說報告.....	13
靜態作品展及個人貢獻.....	13
心得與反思.....	14

B1

專題實作



作品內容



競賽成果



口說報告



靜態作品展



個人貢獻



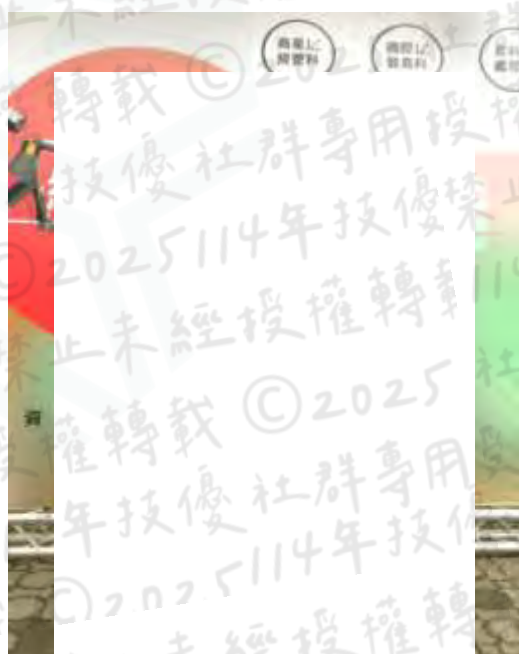
心得與反思



小論文



作品名稱：怦然心動、「小鹿」亂撞
—斑比山丘行銷策略及周邊遊程設計





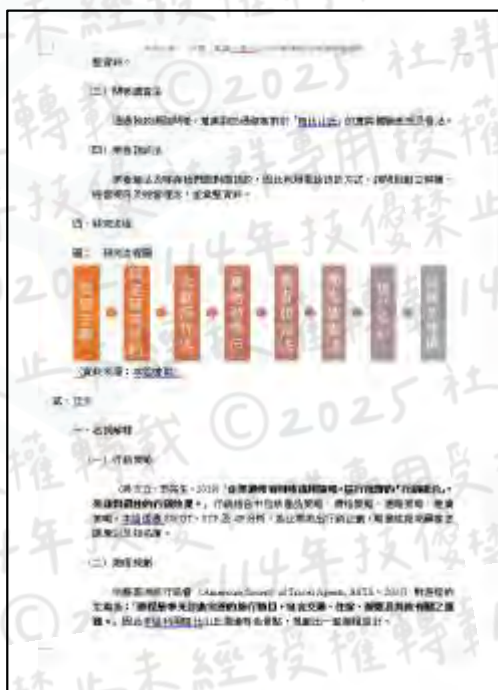
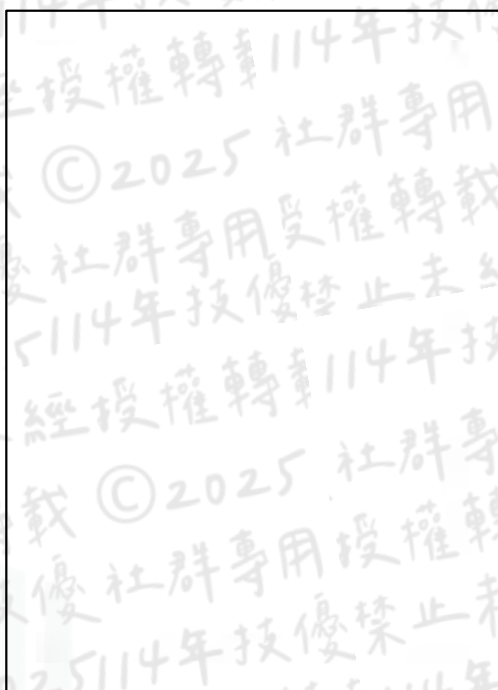
小論文



PPT電子檔



WORD電子檔





小論文

圖三 兩旁石墩時鐘

圖四 後山山莊

圖五 橫街距離約五成。

圖六 橫街才形心發展。

圖七 橫街直街的位置。

圖八 木皮區

不後則則是土地被填地時沖出的地方。

(資料來源：本報自行拍攝)

(五) 兩條街之比較

兩條街的長度不再單一，為了瞭解兩條街在兩條街的發展，本報以兩條街為主要對象，與其性質和相對於兩條街的發展比較，並與兩條街發展中已不再只有一條街的發展活動加上門牌兩條街的發展活動，因此兩條街在互為比較。

表二 兩條街之比較

比較	地點	兩條街	兩條街
比較	地點	兩條街	兩條街

圖九 兩旁石墩時鐘

圖十 後山山莊

圖十一 橫街距離約五成。

圖十二 橫街才形心發展。

圖十三 橫街直街的位置。

圖十四 木皮區

不後則則是土地被填地時沖出的地方。

(資料來源：本報自行拍攝)

(六) SWOT 分析

(Strengths) 指出「主要有利企業內部環境的優勢和機會，以及與企業外部環境的適應關係」。本報以 SWOT 分析其優勢。

(Weaknesses) 指出「主要不利企業內部環境的劣勢和威脅，以及與企業外部環境的適應關係」。本報以 SWOT 分析其劣勢。

表三 SWOT 分析

優勢 (Strengths)	機會 (Opportunities)	劣勢 (Weaknesses)	威脅 (Threats)
1. 知名度高 2. 交通便利 3. 可發展許多商業活動 4. 可發展許多商業活動 5. 可發展許多商業活動	1. 可發展許多商業活動 2. 可發展許多商業活動 3. 可發展許多商業活動 4. 可發展許多商業活動 5. 可發展許多商業活動	1. 知名度低 2. 交通不便 3. 可發展許多商業活動 4. 可發展許多商業活動 5. 可發展許多商業活動	1. 知名度低 2. 交通不便 3. 可發展許多商業活動 4. 可發展許多商業活動 5. 可發展許多商業活動

圖十五 兩旁石墩時鐘

圖十六 後山山莊

圖十七 橫街距離約五成。

圖十八 橫街才形心發展。

圖十九 橫街直街的位置。

圖二十 木皮區

不後則則是土地被填地時沖出的地方。

(資料來源：本報自行拍攝)

(七) 行路時間

(八) 行路時間

(九) 行路時間

(十) 行路時間

(十一) 行路時間

(十二) 行路時間

(十三) 行路時間

(十四) 行路時間

(十五) 行路時間

(十六) 行路時間

(十七) 行路時間

(十八) 行路時間

(十九) 行路時間

(二十) 行路時間

(二十一) 行路時間

(二十二) 行路時間

(二十三) 行路時間

(二十四) 行路時間

(二十五) 行路時間

(二十六) 行路時間

(二十七) 行路時間

(二十八) 行路時間

(二十九) 行路時間

(三十) 行路時間

(三十一) 行路時間

(三十二) 行路時間

(三十三) 行路時間

(三十四) 行路時間

(三十五) 行路時間

(三十六) 行路時間

(三十七) 行路時間

(三十八) 行路時間

(三十九) 行路時間

(四十) 行路時間

(四十一) 行路時間

(四十二) 行路時間

(四十三) 行路時間

(四十四) 行路時間

(四十五) 行路時間

(四十六) 行路時間

(四十七) 行路時間

(四十八) 行路時間

(四十九) 行路時間

(五十) 行路時間

(五十一) 行路時間

(五十二) 行路時間

(五十三) 行路時間

(五十四) 行路時間

(五十五) 行路時間

(五十六) 行路時間

(五十七) 行路時間

(五十八) 行路時間

(五十九) 行路時間

(六十) 行路時間

(六十一) 行路時間

(六十二) 行路時間

(六十三) 行路時間

(六十四) 行路時間

(六十五) 行路時間

(六十六) 行路時間

(六十七) 行路時間

(六十八) 行路時間

(六十九) 行路時間

(七十) 行路時間

(七十一) 行路時間

(七十二) 行路時間

(七十三) 行路時間

(七十四) 行路時間

(七十五) 行路時間

(七十六) 行路時間

(七十七) 行路時間

(七十八) 行路時間

(七十九) 行路時間

(八十) 行路時間

(八十一) 行路時間

(八十二) 行路時間

(八十三) 行路時間

(八十四) 行路時間

(八十五) 行路時間

(八十六) 行路時間

(八十七) 行路時間

(八十八) 行路時間

(八十九) 行路時間

(九十) 行路時間

(九十一) 行路時間

(九十二) 行路時間

(九十三) 行路時間

(九十四) 行路時間

(九十五) 行路時間

(九十六) 行路時間

(九十七) 行路時間

(九十八) 行路時間

(九十九) 行路時間

(一百) 行路時間

圖十五 兩旁石墩時鐘

圖十六 後山山莊

圖十七 橫街距離約五成。

圖十八 橫街才形心發展。

圖十九 橫街直街的位置。

圖二十 木皮區

不後則則是土地被填地時沖出的地方。

(資料來源：本報自行拍攝)

(七) 行路時間

(八) 行路時間

(九) 行路時間

(十) 行路時間

(十一) 行路時間

(十二) 行路時間

(十三) 行路時間

(十四) 行路時間

(十五) 行路時間

(十六) 行路時間

(十七) 行路時間

(十八) 行路時間

(十九) 行路時間

(二十) 行路時間

(二十一) 行路時間

(二十二) 行路時間

(二十三) 行路時間

(二十四) 行路時間

(二十五) 行路時間

(二十六) 行路時間

(二十七) 行路時間

(二十八) 行路時間

(二十九) 行路時間

(三十) 行路時間

(三十一) 行路時間

(三十二) 行路時間

(三十三) 行路時間

(三十四) 行路時間

(三十五) 行路時間

(三十六) 行路時間

(三十七) 行路時間

(三十八) 行路時間

(三十九) 行路時間

(四十) 行路時間

(四十一) 行路時間

(四十二) 行路時間

(四十三) 行路時間

(四十四) 行路時間

(四十五) 行路時間

(四十六) 行路時間

(四十七) 行路時間

(四十八) 行路時間

(四十九) 行路時間

(五十) 行路時間

(五十一) 行路時間

(五十二) 行路時間

(五十三) 行路時間

(五十四) 行路時間

(五十五) 行路時間

(五十六) 行路時間

(五十七) 行路時間

(五十八) 行路時間

(五十九) 行路時間

(六十) 行路時間

(六十一) 行路時間

(六十二) 行路時間

(六十三) 行路時間

(六十四) 行路時間

(六十五) 行路時間

(六十六) 行路時間

(六十七) 行路時間

(六十八) 行路時間

(六十九) 行路時間

(七十) 行路時間

(七十一) 行路時間

(七十二) 行路時間

(七十三) 行路時間

(七十四) 行路時間

(七十五) 行路時間

(七十六) 行路時間

(七十七) 行路時間

(七十八) 行路時間

(七十九) 行路時間

(八十) 行路時間

(八十一) 行路時間

(八十二) 行路時間

(八十三) 行路時間

(八十四) 行路時間

(八十五) 行路時間

(八十六) 行路時間

(八十七) 行路時間

(八十八) 行路時間

(八十九) 行路時間

(九十) 行路時間

(九十一) 行路時間

(九十二) 行路時間

(九十三) 行路時間

(九十四) 行路時間

(九十五) 行路時間

(九十六) 行路時間

(九十七) 行路時間

(九十八) 行路時間

(九十九) 行路時間

(一百) 行路時間

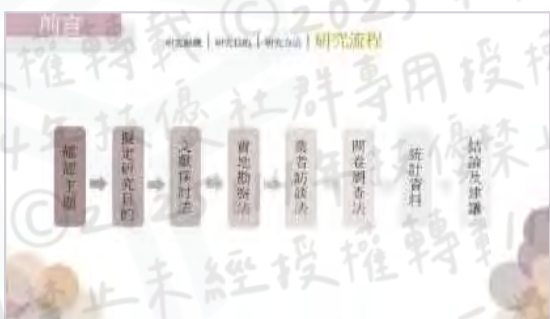
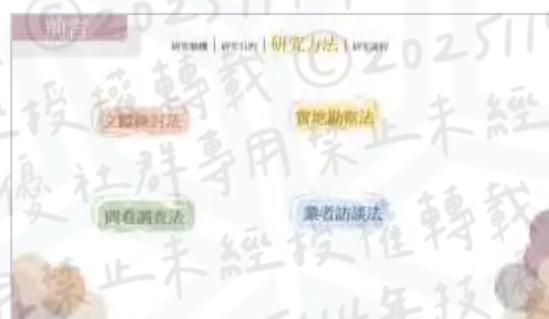
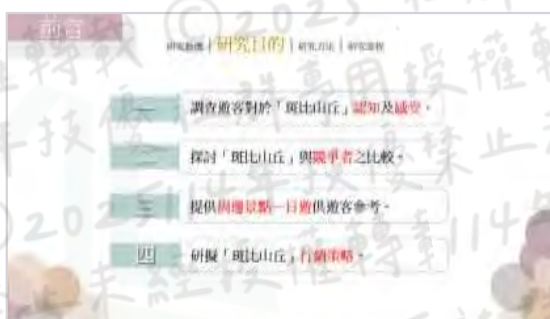
小論文

(资料来源:《中国统计年鉴》)

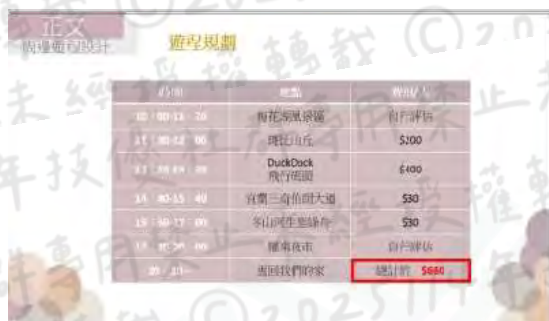
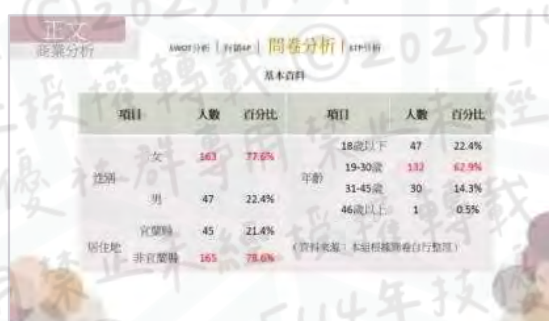
- 06



簡報

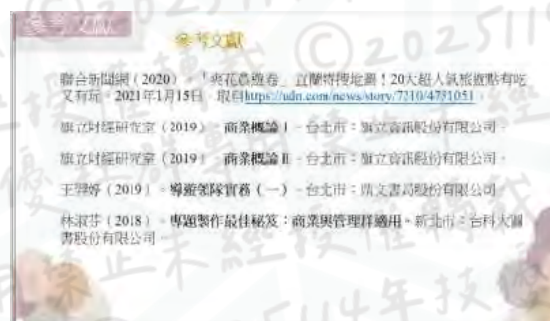
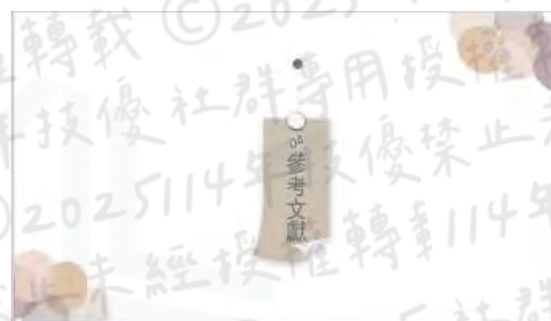
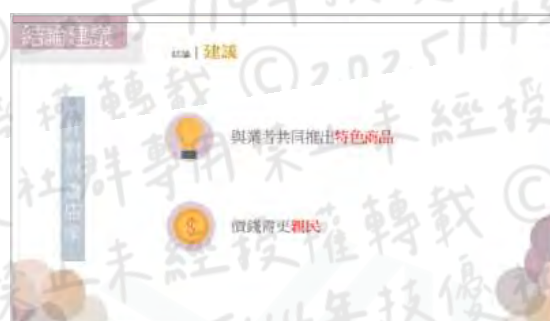


簡報





簡報

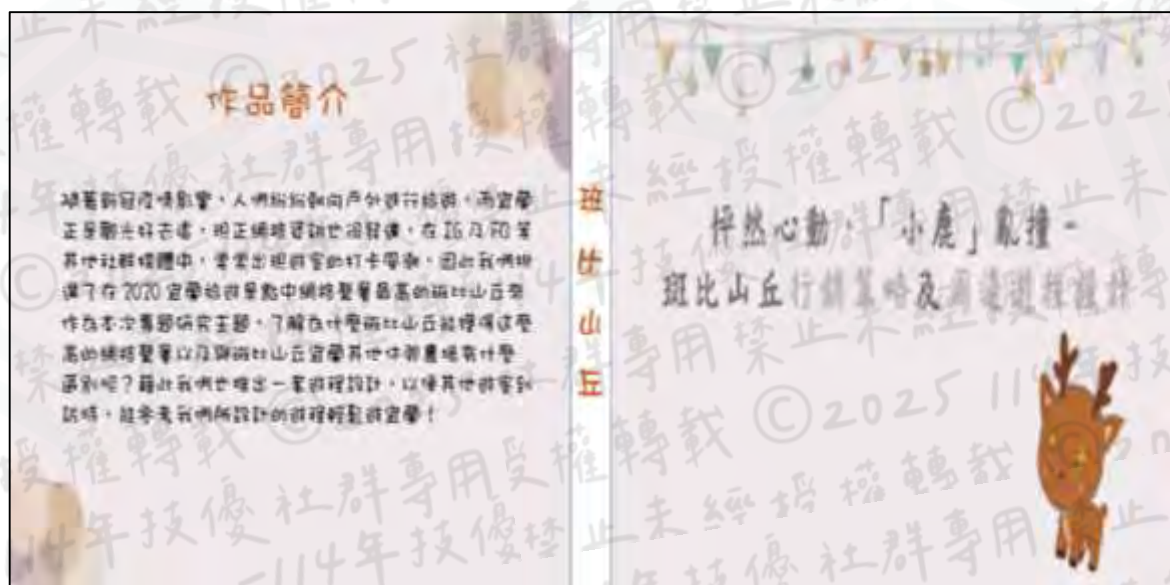




三折頁



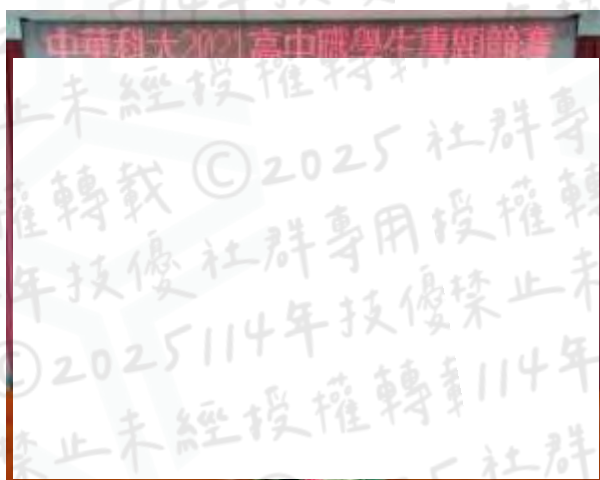
CD盒





競賽成果

嶺東科大專題競賽-優等

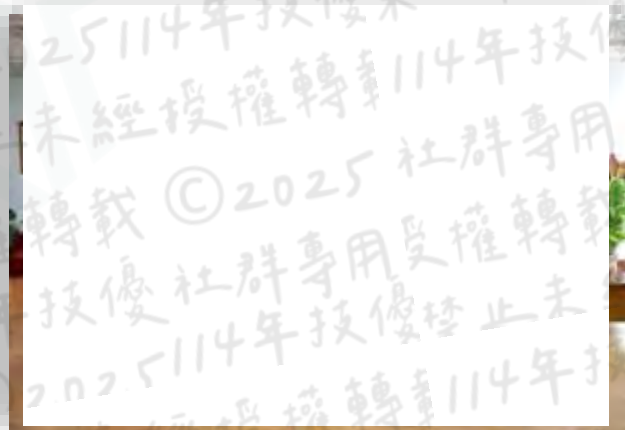


中華科大專題競賽-優選

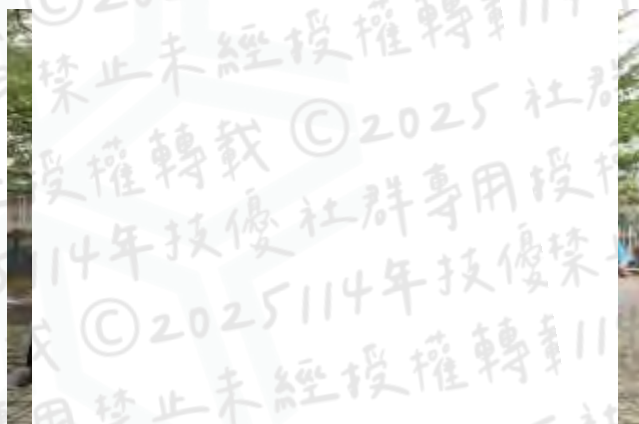
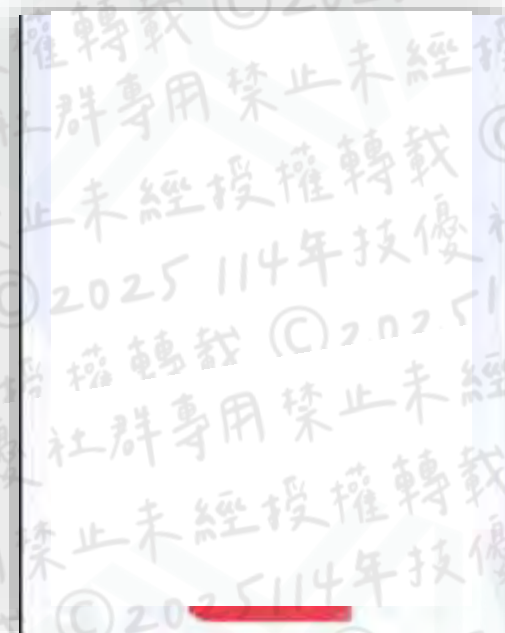




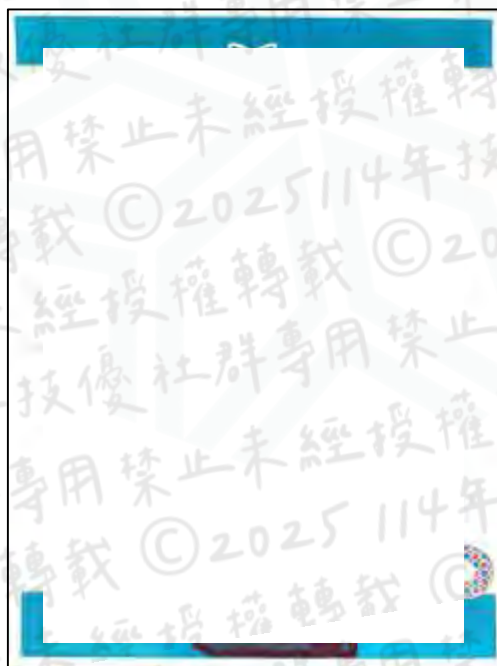
競賽成果



校內專題競賽-第二名

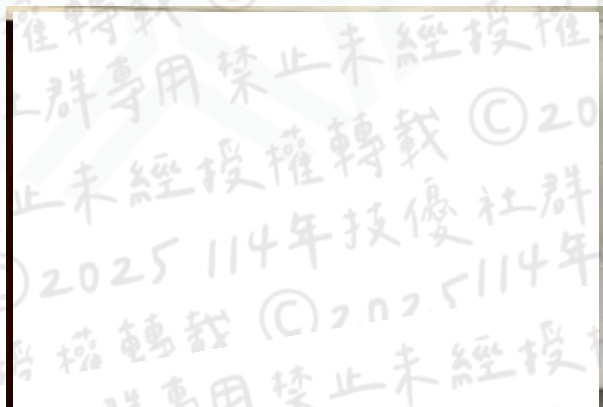
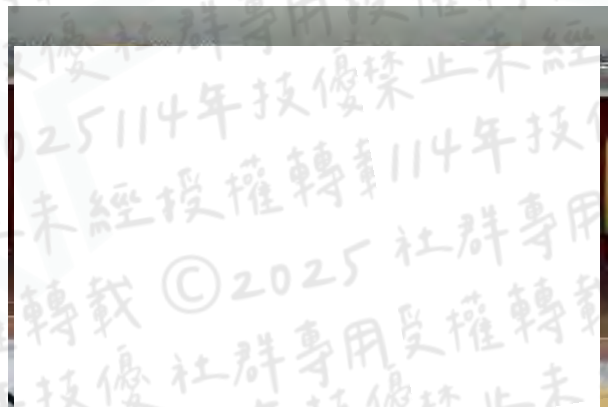


校內成果發表參展證明

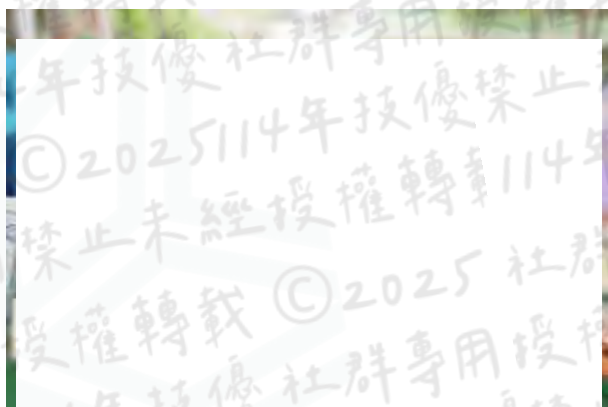




口說報告



靜態成果展



個人貢獻表

| Word製作 | 查詢資料 | 統整資料 | 實地訪查 |
| 準備成果展所需用品 | 三折頁製作 |



心得與反思

一個人的努力微不足道，但三個人的努力可以所向披靡。

專題，是每個高職生必經的過程，從高一年的研究方法開始奠定一些研究基礎，比如做問卷、比例圖等等的，老師們甚至讓我們模擬專題做了一次田野調查報告，以便讓我們更了解整個小論文的運作。

到了高二，便馬不停蹄的開始確定主題、找好資料、拜訪商家，在製作期間，與組員時常有糾紛，而我的個性是急性子，常常有不開心的地方，但組員們也很包容地說這是讓這份作品更成熟的養分，同時也讓我在過程中學到如何與別人適當地表達意見以及該怎麼與同學相處合作還有怎麼樣把已經做好的作品再優化，所以這趟專題之旅，讓我收穫滿滿！